



会報 シルバーきたかた

恋人坂 (熊倉地域)

【発行】公益社団法人 喜多方市シルバー人材センター
〒966-0802 福島県喜多方市字桜ガ丘二丁目147番地1
☎ (0241)23-1313 / FAX (0241)23-1316



ホームページもご覧ください! QRコード→
<https://kitakata.fukushimaren.net/>



令和5年度 定時総会



公益社団法人喜多方市シルバー人材センターの令和5年度定時総会は、6月16日、厚生会館で開催されました。

猛威を振るった新型コロナウイルスも一段落し、インフルエンザ並みの5類に移行し、4年ぶりの通常開催にこぎ付けることができました。

藤本容子理事長は、「今年度も『会員拡大』『安全就業』加えて『デジタル化推進』を重点に取り組んでまいります。会員の皆様には健康第一に楽しく安全に就業され、地域社会に貢献してくださいませようご期待申し上げます」とあいさつしました。

また、42年間在籍の曾山真一郎会員がめでたく百歳を迎えたことを機に、表彰状が手渡されました。なお、曾山さんの息子さんは剪定班に所属され活躍しております。



おめでとう！曾山真一郎さん！



各委員長より一言

安全適正就業委員会

手代木 正美

- 安全就業の徹底で事故をなくそう！
- 体調の悪い時は無理せず休みましょう！
- 作業前に全員でチェックシートを確認しよう！
- 安全運転で交通事故をなくそう！

(5ページも参照して下さい)

独自事業委員会

伊藤 義雄

独自事業は、お祭り用軒花(6月～7月)、しめ縄・玄関飾り(7月～12月)、彼岸花(10月～2月)の製作・販売をしております。

それぞれの事業は、すべて地域の伝統文化を守り継承することを目的にしており、時期ごとに使用する皆さんからは好評をいただいております。是非この事業に参加して楽しい日々を過ごしていただきたいと思います。

広報委員会

笠井 實

広報委員会は、年に2回、8月と1月に「会報シルバーきたかた」を発行することを主たる活動としています。

会報は、シルバー人材センターの活動を半期ごとに総括、報告し、且つセンターの課題を会員間で共有していくためのものでもあります。

皆さんと一緒に会報を作っていくために、ご意見、ご提案をお寄せください。

活動の記録

令和5年1月からの喜多方市
シルバー人材センターの
記録です。



無事故を願い安全祈願
(安全適正就業委員会)
1月11日 諏訪神社



県立博物館より彼岸花取材
2月24日



あねさま倶楽部
視察研修
3月3日



宮城県富谷市S C
へ先進地視察研修
を行いました。



山形市S C喜多方訪問
3月17日 喜多方プラザ
山形市S Cが喜多方市S Cの視察に来られました。

女性委員会

齋藤 美恵子

昨年6月、女性委員会が始動しました。目的は、シルバー人材センターの女性会員の拡大と女性にとって魅力的なセンターとなるよう環境の整備推進を図ることです。

本年度の事業として、着物教室、ヨガ教室、ポッチャ大会&新そば会を企画しました。会員どなたでも参加し、ワイワイ過ごせるような敷居の低い事業を行っていきたいと思います。乞うご期待！！

事業委員会

山口 洋一

新型コロナも5類感染症に移行されて、人々の動きも活発化しております。さて、本年度の第1回事業委員会が開催され、以下のように協議されました。①会員相互レクは川越市に1泊で行う。②シルバーの日の実施は場所を喜多方と山都に分け、喜多方・塩川班と山都班で行い、終了後、芋煮を配る。③女性限定入会説明会を9月末を目安に喫茶店を会場にして行う。

就業現場のひとコマ

就業中の会員さんの現場の様子を撮り、そのお仕事についてやりがいや嬉しかったこと等について語っていただきました。

高齢者サポート

ゴミ出し（ワンコイン）を手伝う小川文夫さん



頼まれた方が近所で、不自由なのを知っていたので、助けになればと思い引き受けました。雨の日がちょっと大変ですけど、笑顔で感謝されるとこちらも嬉しくなります。

現役世代の下支え

放課後児童クラブでお掃除や見守りをしている築田千佳子さん

校内にある児童クラブなので学校の先生方とも会うので少し緊張しました。

昨今、学校内に不審者が入ってきたり、校庭に車が入って来たり、いろいろな事件があるので、気を付けて見えています。

毎日、子どもの元気な声を聞いて心が癒されます。私の同級生も数人のお孫さんを迎えに来ていて懐かしいです。



企業の人手不足解消

品出しにがんばる矢部庄衛さん



商品の品出しを担当して今年で4年目になります。何種類もの野菜別の陳列場所を覚えることに苦労しましたが、2、3年経つと覚えられます。

知っている方が何人かいたので助かりましたが、慣れるまでは大変でした。慣れれば、値札を付けたり、長くやっているとできるようになります。

お客様から返品やクレームが来るとショックですが、特に問題もなく仕事が終わるとうれしいものです。

カゴ・カート回収に励む中森正利さん



カゴやカートを整り使える状態にしておくことで、お客様は安心してお買い物ができます。毎日の生活に必要な買い物を快適にするやりがいのある仕事にかかわれて良かったなと思っています。

また、ペットボトル回収の仕事が増え、そちらの方で何かあると、急いでいかなければならない場合もあります。やり方がよく分からない最初のうちは戸惑いましたが、今ではだいぶ慣れました。

伝統文化の継承

軒花製作

軒花は夏のお祭りの時期、祭りの雰囲気を醸し出す、民家の軒先を飾る風物詩です。



安全就業

安全は全てに優先します。

安全パトロールの実施

喜多方市シルバー人材センターでは、安全適正就業委員会委員がローテーションで各就業現場を巡回して安全パトロールを実施し、服装、道具、体調をチェックし、安全就業を最大限に配慮しているか目を光らせています。

こまめに水分補給 熱中症を防ぎましょう

皆さん、水分補給していますか？

人間の体は半分以上が水分です。しかし、加齢とともに水分は減少し、いわば体の『砂漠化』が進行していきます。肌はパサつき、血液はどろどろになりがちです。

1日で2.5ℓの水分が出ていくそうです。その大半は尿ですが、汗を多くかくとその分失われます。汗には体温調節機能があるので、体が熱いときには汗をかいて体温を下げなければなりません。出た分は補給しなければならないのです。



ハチ刺されにご注意を!!

屋外で作業する際は、ハチ（巣）を刺激しないよう、注意して行動しましょう。もしも刺された場合は、すぐにその場から離れ、安全な場所で静かに横になります。可能であれば、刺された部位を流水で洗い流し、針が残っている場合は、（毛抜き等を使って）そっと抜いてください。局所の疼痛は水か氷で冷やしましょう。



※8/1ご入稿予定

飛び石予防について

機械を使った草刈り作業では、高速に回転する刈刃で地表から生えている草を刈り取ることから、草と一緒に小石に接触した場合、固い小石が刈刃に飛ばされることとなります。

ですので、作業前の現場確認はもちろんですが、それでも多少の飛び石はあると予想して、もし飛んだ場合でも被害が出ないような作業の方向、向きを考えてください。

どうしても、建物の近くで作業せざるを得ない時は、飛び石予防ネットを使用することとなります。



お客様の声

女性会員さん、がんばっていますヨ!!

特殊精機様

事務所内清掃



専務取締役 五十嵐 敏 様

今までパートで清掃に入ってもらっていた方が、体力の衰えを理由に辞めることになり、以前、シルバーを利用したことがあり、また前社長がシルバーの会員にもなっていたので、シルバーにまた依頼することになりました。

1日4時間、週に5日作業してもらっていて、お2人でローテーションを組んで、都合の悪い時は融通して来てもらって、ありがたいです。

また、作業している中で何かが付いたことを話してくれて、有益な提案をいただき感謝しています。

しののめ荘様

介護施設清掃業務



施設長 木村真理子 様
副主任介護員 梅宮 裕樹 様

14年前、県から移譲された時から清掃に入ってもらっていたのでそのまま、シルバー人材センターに依頼しています。

1人が休みの時に代わりの方が来てもらえて、切れ目なしにやってもらっていて、大変助かっております。

お2人とも人生経験豊富なので、施設利用者さんそのまま受け入れ、対応してもらっています。

お仕事に熱心に取り組んでおられて感謝しておりますが、休憩は必ず取るようお願いしております。

シルバー人材センターで働いてみませんか！ 会員募集！

入会説明会：毎月第2金曜日 午後1時30分～



喜多方市シルバー人材センターでは、毎月第2金曜日（原則）の午後1時30分から、センター事務所2階にて入会説明会を開催しています。また、ご希望の方には随時、説明会を実施しています。

〈今後の説明会の予定〉
9月 8日(金) 午後1時30分～
10月13日(金) 午後1時30分～
場所：喜多方市シルバー人材センター
電話：0241-23-1313

表紙について

恋人坂から喜多方市街地を見下ろす絶景。一本の真っ直ぐな坂が盆地と繋がっているドラマチックで素敵な場所です。



坂を下から見上げると！

編集後記

さしもの猛威を振るった新型コロナウイルス禍も節目を迎え、マスク着用は個人の判断に委ねられたとはいえ、医療機関を筆頭にまだ警戒を緩める感じはありません。しばしの間、ウィルスという見えない敵と戦い、共存することを覚悟しなければなりません。

会報67号では、会員の皆様の就業現場に赴き、生の声を収録し、またお客様にはセンターを活用しての声を載せてみました。地域社会に貢献していくセンターの活動の一端をお示しできたら幸いです。

- 広報委員長 笠井 實
- 副委員長 菊地 廣明
- 委員 蓮沼 清明
- 委員 鈴木 誠
- 委員 築田 千佳子
- 委員 鷺山 武行